

製品名: MAGE-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13592**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | MAGEA9 |
| 別名 | MAGEA9; MAGE9; MAGEA9A; MAGEA9B; Melanoma-associated antigen 9; Cancer/testis antigen 1.9; CT1.9; MAGE-9 antigen |
| 遺伝子 ID | 4108/728269 |
| SwissProt ID | P43362 |
| 免疫原 | MAGE-9 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1-80 |

背景

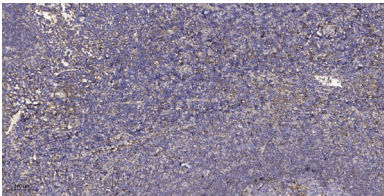
この遺伝子は MAGEA 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、互いに 50~80%の配列相同性を持つタンパ

ク質をコードします。MAGEA 遺伝子のプロモーターと最初のエクソンには大きな変異が見られ、この遺伝子ファミリーの存在によって、異なる転写制御下で同一の機能が発現することを可能にしていることを示唆しています。MAGEA 遺伝子は染色体 Xq28 にクラスター化しています。これらの遺伝子は、先天性角化異常症などのいくつかの遺伝性疾患との関連が示唆されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能:不明ですが、胚発生や腫瘍の形質転換、または腫瘍の進行の側面において役割を果たす可能性があります。、類似性:1つの MAGE ドメインを含みます。、組織特異性:黒色腫、頭頸部扁平上皮癌、肺癌、乳癌など、さまざまな種類の腫瘍で発現していますが、精巣と胎盤以外の正常組織では発現していません。、

研究分野

がん; 腫瘍免疫学; 腫瘍関連抗原

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。